

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公開番号】特開2005-302262(P2005-302262A)

【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-379849(P2004-379849)

【国際特許分類】

G 1 1 B 5/60 (2006.01)

G 1 1 B 21/21 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/60 Z

G 1 1 B 5/60 C

G 1 1 B 21/21 1 0 1 Q

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 . 0 mm 以下の幅と 0 . 8 5 mm より長い長さ と 0 . 2 3 mm 以下の厚さとを有し、幅に対する長さの比が 1 . 5 より大である本体と、 スライダを可動のデータ記憶媒体上で滑空させるエアベアリング面と、
を有することを特徴とする 高密度磁気記録用のスライダ。

【請求項 2】

前記本体の厚さが 0 . 2 3 mm 以下である請求項 1 に記載のスライダ。

【請求項 3】

前記本体の長さが 1 . 2 3 5 mm であり、かつ前記本体の幅が 0 . 7 mm である請求項 1 に記載のスライダ。

【請求項 4】

前記本体の長さが 3 . 0 mm 以下である請求項 1 に記載のスライダ。

【請求項 5】

エアベアリング面の先端に近接して配置されるエアベアリング面から伸びる U 字型レールをさらに有する請求項 1 に記載のスライダ。

【請求項 6】

前記 U 字型レールは高さが異なる二つの面を有し、各面が前記エアベアリング面に平行である請求項 5 に記載のスライダ。

【請求項 7】

前記エアベアリング面の先端に近接して配置されるエアベアリング面から伸びる主圧縮パッドをさらに有する請求項 1 に記載のスライダ。

【請求項 8】

前記主圧縮パッドは高さが異なる二つの面を有し、各面が前記エアベアリング面に平行であり、さらに前記主圧縮パッドにまたがる二つの外側圧縮パッドを有し、各圧縮パッドは主圧縮パッドの面の一つと同一高さにある請求項 7 に記載のスライダ。

【請求項 9】

データ記憶ディスクと、
幅が 1.0 mm 以下、長さが 0.85 mm より長く、0.23 mm 以下の厚さを有し、幅に対する長さの比が 1.5 より大であるスライダおよびディスク移動時に前記スライダが前記データ記憶ディスク上を滑空可能ならしめるエアベアリング面と、
データ記憶ディスク上にスライダを浮上させるヘッドジンバルアセンブリと、
を備えたことを特徴とする高密度磁気記録用のディスクドライブ。

【請求項 10】

前記スライダの厚さが 0.23 mm 以下である請求項 9 に記載のディスクドライブ。

【請求項 11】

前記スライダの長さが 1.235 mm で、幅が 0.7 mm である請求項 9 に記載のディスクドライブ。

【請求項 12】

前記スライダの長さが 3.0 mm 以下である請求項 9 に記載のディスクドライブ。

【請求項 13】

前記エアベアリング面の先端に近接して配置されるエアベアリング面から伸びる U 字型レールをさらに有する請求項 9 に記載のディスクドライブ。

【請求項 14】

前記 U 字型レールは高さが異なる二つの面を有し、各面がエアベアリング面に平行である請求項 13 に記載のディスクドライブ。

【請求項 15】

前記エアベアリング面の先端に近接して配置されるエアベアリング面から伸びる主圧縮パッドをさらに有する請求項 9 に記載のディスクドライブ。

【請求項 16】

前記主圧縮パッドは高さが異なる二つの面を有し、各面がエアベアリング面に平行であり、さらに主圧縮パッドにまたがる二つの外側圧縮パッドを有し、各圧縮パッドは前記主圧縮パッドの面の一つと同一高さにある請求項 15 に記載のディスクドライブ。

【請求項 17】

単一のウエハ上に複数のスライダを形成し、
前記ウエハをダイシングして各々が 1.0 mm 以下の幅と、0.85 mm より長い長さを有する複数のスライダを形成する、
ことを特徴とする方法。

【請求項 18】

各スライダは厚さが 0.23 mm 以下である請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

各スライダの長さが 1.235 mm であり、幅が 0.7 mm である請求項 17 に記載の方法。

【請求項 20】

各スライダの長さが 3.0 mm 以下である請求項 17 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】高密度磁気記録用の長さ対幅の比が大きいスライダ、ディスクドライブおよびスライダの形成方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

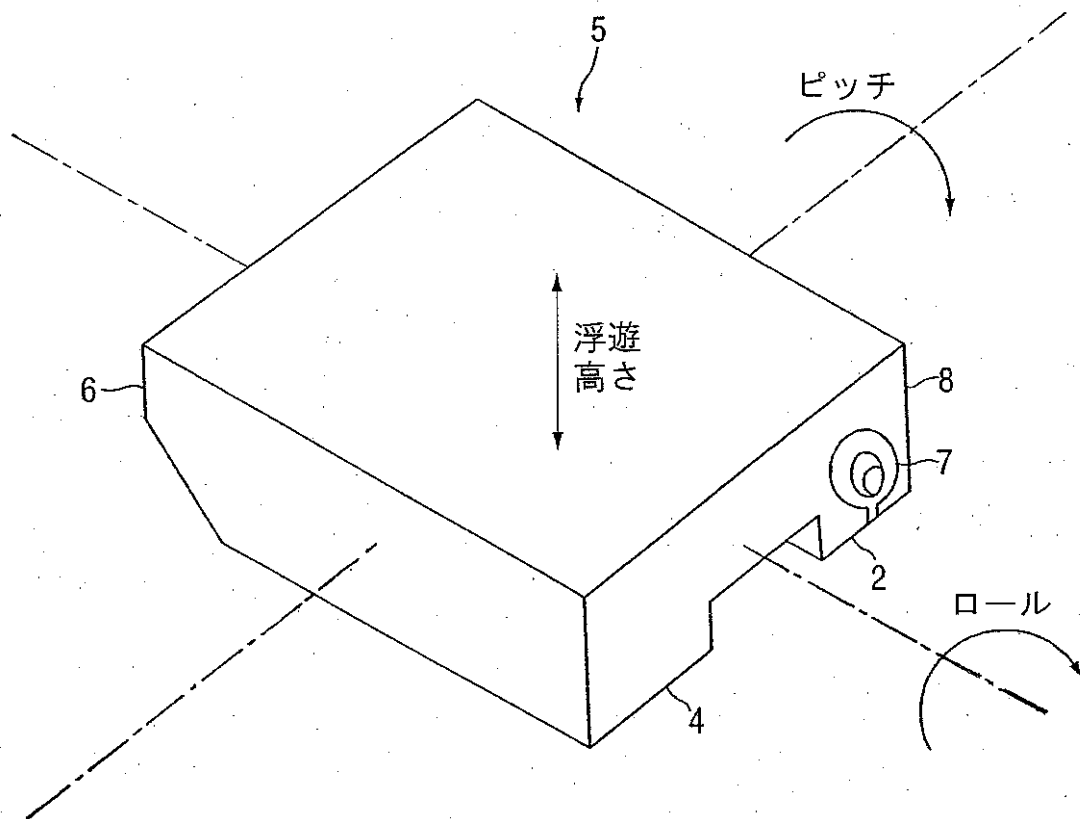
【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

図1

(従来技術)



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

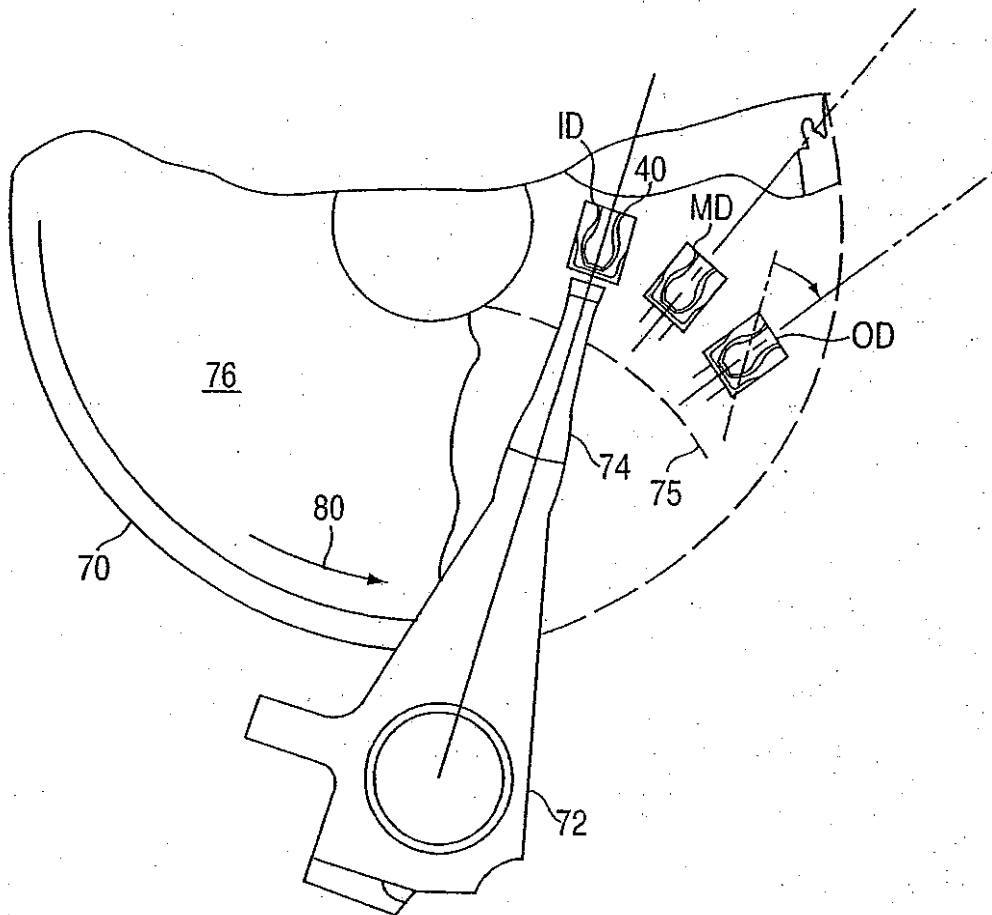
【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

図2

(従来技術)



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

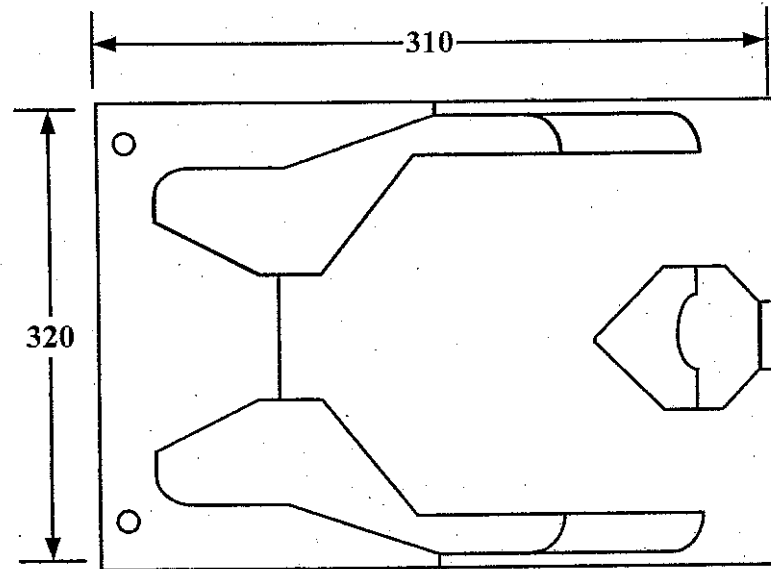
【補正の内容】

【図3】

図3

(従来技術)

(a)



(従来技術)

(b)

